

平成21年度 第2回学校会議報告書

2009. 11. 19

日時 平成21年11月19日(木) 13:30～15:30

出席者

生徒代表 川田千緩(会長)、河内凜・山本優(副会長)、河邊友樹・宮房由依(3年代表理事)、岡崎良太・青木拓・岡礼華・多田裕也(2年代表理事)、白井凌太・岡野裕也(1年代表理事)

保護者代表 西村政高(会長)、木村昌枝・八十川勝彦・細川正浩(副会長)、佐藤里美・高嶋理香・有野晴代(各学年代表)

教職員代表 野崎泰博(校長)、天野徹・田村博之(教頭)、八木泰彦(事務部長)、竹下卓慶(教務主任)、佐立明(生徒指導部)、溝渕正起(特別活動部)、谷畑祐二(研究企画部)

事務局 西村宥貴(生徒)、木村昌枝(保護者)、鎌田高明・國方雅子・英陽子(教職員)

議事内容報告

1. 学校長挨拶

第2回目の学校会議ですが、時間があまればフォーラム形式でやってみようと思う。学校会議では、志度高がいい方向につながるように建設的な話し合いができればと思う。

2. 代表者自己紹介

3. 議長選出 鎌田高明(事務局教職員)が議長として選出される。

4. 議事

【学校会議の改善について】

議長： 志度高校学校会議の改善に関する提案のプリントを出すように。これは、第1回学校会議で学校会議の改善について話し合われ、その後2度にわたり3者委員会を開き、作られた原案である。学校会議は主にフォーラム形式で行うことを基本とし、その審議内容に関する決定をしない。決定を必要とする場合は、学校会議内における3者合意による決定をする、もしくは3者委員会での審議を経て決定をする。これまでの学校会議は3者で話し合いをし、3者合意をしていたが、フォーラムでは何かを決定をするというのではなく、学校に関することをざっくばらんに話し合い、そこで話し合われたことについて報告をし、みんなが同じ認識を持てるようにしていきたいと考えている。決定を必要とする議題の場合は、3者どの立場からでも提案でき、従来の学校会議のように、決定されるまで話し合いをする。学校会議で決定するか、3者委員会で決定するかは、最初に決めておく。その他の変更点は、生徒の参加者が増え、より多くの人が学校会議に参加できるようにと改善する。この提案についてどう考えるか、3者が意見を持ち寄ってきていると思うので、それぞれの立場でどのように考えているか発言をしてもらおう。

教職員： 第1回の学校会議で学校会議の改善を提案した。第1回学校会議で生徒から、学校会議を5年間やってきたので、学校会議を変えようとしているのはおかしいという意見があった。不都合な部分が見えてきたので見直したいが、学校会議をしている学校が少ないので、どのようにしたらいいかわからないまましてきた。ここで一度見直したいと思い、提案をしようと考えた。5年間やってきたので変更をするのではない。教員側で原案を作り、3者委員会で話し合った。それがこの案である。何か意見があれば言ってほしい。原案では、志度高校学校会議という名称ではなく、志度高校学校フォーラムという名称にした。しかし、保護者、生徒から志度高校学校会議という名称を残してもらいたいという意見があったので、学校会議という名称を残した。

学校会議に提出する議題は、合意、決定をする提案をしないでもらいたいというのが、教職員側の提案である。時間をかけて話し合っても、学校会議で決定したことが守れていない。携帯電話も学校会議で許可され、届け出制をしているが、昼休みに携帯を使って指導を受けた生徒が多い。何かを決定する場合は、学校会議のために職員会議をし、検定課外などができないということもある。一切決定する議題は提案できないのかという意見があったが、3者で合意する内容や、多くの生徒が必要と感じていることや緊急性を要する議題もある。そういうものはフォーラムで話し合いたいと思い提案した。

参加者についてであるが、これからは3者が議題を提出するのが原則。議題がない場合は提出しなくてよい。生徒理事は、クラス2人程度で学級委員長でなくてもよい。学校会議で提案する議題があった場合は、議題の提出者が説明し、資料を提出することとする。思いつきだけで提案しない。

開催日時についてであるが、3学期は忙しいので、学校会議をするのは厳しく、1・2学期の学校会議のみにする。3者で話し合いをして決めた結果であるので、できればこの資料の提案のようにいかせてもらいたい。

生徒： 学校会議の提案をうけて、3者委員会で話し合い決まったが、納得のいかない部分もある。志度高校学校会議の改善に関する提案のプリントの、1基本的な考えの②を見てもらいたい。理事会でより魅力ある学校とはどのようなものかを話し合った。その資料を見てもらいたい。生徒はその中の一つが、社会に誇れる学校づくりだと考えている。

1基本的な考えの③を見てほしい。主にフォーラムという言葉があるが、その主をのけてほしい。

生徒理事会の24人は多いので、6名～12名にしてもらいたい。

議題の提案者は説明をするというところをのけてもらいたい。生徒からの議題は、多くの生徒の意見があるからこそ出ているので提案者はいないと思う。「生徒の議題提案者」というところを消してほしい。

保護者： 大筋この案でいいが、主にフォーラムというのがひっかかる。

1基本的な考えの③の文章を、議題の提案者が決定を必要とする場合は、学校会議内における3者合意による決定、もしくは3者委員会での審議を経ての決定をすることもできる。ただし、学校会議はフォーラム（公開討論会）として実施し、その場合は審議内容に関する決定を行わない。にしたらどうか。

議長： それぞれの立場で話をしてきたが、他の意見を聞いて何か意見があったら、意見を言ってほしい。指摘された部分を文章の順番に見ていきたい。

1基本的な考え方の②の学校会議は、地域に誇れる、そして、社会に認められる志度高校づくりという言葉により魅力のある学校づくりに変えてはどうか。これについてどうか。

生徒： 地域に誇れる、そして、社会に認められる志度高校づくりというのは、より魅力ある学校づくりの一つである。

議長： 保護者は、生徒が卒業したら地域の人になるが、地域の人から見てどう思うか。

保護者： 先生がいう時間がないというのはわかるが、フォーラムにすることは、学校の中の問題だけになってしまう。学校が地域やさぬき市において素晴らしい学校になってもらいたい。学校づくりという言葉にこだわる必要はない。

生徒： 地域に誇れる学校は、魅力ある学校である。そのことから魅力ある学校などのような学校かを考えた。学校の中だけの問題だけではなく、学校の外のことも考えたものにしてほしい。

教職員： 小さな言葉を話し合うのでは時間がもったいない。地域に誇れるという言葉と魅力ある学校というのを両方入れたらどうか。魅力ある学校づくりが、地域に誇れる学

校になるのではないか。文言を考えるよりも、どうやったら実践できるかを考えるほうが大事である。文言は後日でもいいのでは。

議長：細かいことについては後日考えていく。両方載せる方向でいったらどうか。
1 基本的な考えの③のフォーラムを主にするという言葉についてはどうか。このような文章になった経緯を教職員から説明をしてほしい。

教職員：議題を提出するとなると職員会議が必要になる。他の仕事を差し置いて会議をするが、学校会議で決定したことが守れていない生徒たちの姿を見ると、長い時間を割くことに疑問を持つ。そのようなことから、3者が集まって話し合う会を他の時間に持てばどうか。会議で決定しようとする、時間がかかる。必要なことは3者委員会などで早く決定していけばいい。緊急性を持つ議題については別に話し合いをもちたい。また、以前に決定したことがわからなということや過去に学校会議で決まったこと、却下になったものをまた出してくることもある。主にフォーラムの形式であれば、話し合いがすぐにでき、すぐに結果も出る。欠点を取り除くためにフォーラム形式を取り入れたい。

保護者：本来は3者が対等に話し合いをするのが目的。学校会議をしようとした原点はわからないが、学校会議の目的があると思う。守れていないなどの部分が出てきているが、どのような議題であっても、このように話し合いをする場が必要である。学習面などをよくしようという目的で、学校会議を行っているので、会議は必要である。

生徒：フォーラムがどのようなものかわからないし、ただ話をするというフォーラムではいけないと思った。しかし、フォーラムは話をするということでもいい場であるということがわかった。学校会議の悪いところを改善する必要がある。フォーラムもやってみたいと思った。決められたルールが守れていないということなどはフォーラムで話し合いをする必要があると考えた。学校会議は時間がかかるが、いい面もあったから5年間やることができた。学校会議もフォーラムも同じ立場でやっていきたい。

教職員：正式な場で回答をするのに時間がかかる。時間がかかるのは、それだけ真剣に考えたからこそ、その言葉に重みがある。一人ひとり色々な考えがあり、それを話し合うことに意味がある。そこに時間をかけるのはいいことである。決められたことが実行されるのと時間をかけて話し合いをすることが大事。3者委員会を上手く使いながらやっていけばいいのでは。

保護者：みんなが真剣に話し合うということが学校会議のいいところだと思う。要望を取り上げることがいいこと。学校会議は教育の場である。提案、PTAの中では主にするという言葉のをのけることに意義はないので、のけてはどうだろうか。

生徒：学校会議は時間をかけたからこそ、このような結果があった。保護者の意見に賛成で主にするという言葉のをのけてほしい。

教職員：学校会議だけが生徒の意見をいう場と感じているが、いつでも意見を言ってほしい。3者で考えなければならないことは、学校会議で話をする。意見があったら、校長や教頭のところに行き、言ってもらいたい。

生徒：生徒からすれば、同じ立場で話をできる学校会議は置いてもらいたい。

教職員：学校会議をなくすということではない。

生徒：質問がある。3者委員会の中に校長先生は入っているのか。

議長：3者委員会には校長先生は入っていない。報告はしている。

教職員：3者委員会は最初のテーマに入っていなかった。校長先生は最終決定者なので参加はしない。

生徒：校長先生にも参加してもらいたい。結果だけではなく、議論も見てもらいたい。

教職員：意見が言えるのは学校会議でもフォーラムでも同じである。生徒が考えてきた魅力ある学校には、取り決めが必要な議題は少ないと思う。フォーラムのほうがあって

いるのでは。携帯のようなことはルールを決める必要があるから学校会議であるが、それ以外のこと、授業をよくするというはフォーラムの方が合っているのではないか。フォーラムで決めなければならないことができれば、学校会議をすればいい。話したいテーマで学校会議かフォーラムかを考えたらいい。学校会議の中にフォーラム、3者委員会、3者合意で決定されたことがある。学校会議とフォーラムと別とは考えていない。

教職員：ここで文章を考えるより、文章はもう一度後で考えてきたらどうか。
人数を減らしてほしいについてだが、生徒は24人というほうがいいのではないか。多くの生徒は自分に関係がないと考えているので、多くの生徒が関わっているほうがいい。人数は固定化ではなく、流動的に人数が変更してもよい。

「生徒の議題の提案者」をはずしてほしいについてだが、議題の提案者は、生徒の代表が代行するというのではどうか。

議長：人数が多いというのは、どういう理由か。

生徒：人数を固定化しないというのであれば、構わない。

生徒：3者委員会についてなどは、次回持ち越しになるのか。

議長：持ち越しではない。3者委員会で話し合っていきたい。

生徒：3者委員会の中身については、いつ話し合っていくのか。

校長：校長は3者委員会には出ない。公平性を欠く場合があるので、出席をしない。報告は受ける。3者委員会については、はっきり決まっていない。字句整理の時に、3者委員会の位置付けをまた考えて、みなさんにお話をするのではどうか。

生徒：フォーラムに地域の人に参加してもらったらどうか。意見を聞いてみたい。

教職員：3者委員会について決まったことについては、3者で持ち帰り、教職員なら教職員全体に報告をする。3者委員会の前に話し合いをし、3者委員会に臨む。

生徒：先生は、主にという言葉はのけてもいいのか。

教職員：主にという言葉にこだわっているわけではないので、のけてもよい。

議長：フォーラムをする時間がなかったなので、次回フォーラムをする機会があれば、今回のテーマで話し合っていきたい。

校長挨拶

新しい学校会議に向けての改善案が示された。3者委員会のあり方について考え、来年度から運用していきたい。学校会議は使い方によってはいいものである。この生徒が作ったプリントに書かれていることを実践してもらいたい。ここに書かれている学校にしてもらいたい。生徒も教職員、保護者もいい意味で変わることが必要である。

以上、志度高校学校会議で協議された内容について報告いたします。

志度高校学校会議事務局